2023年3月期
第2四半期決算説明資料

2022年11月30日

ニチレキ株式会社

（東証プライム　証券コード5011）

「道」創りを通して社会に貢献する

「道」創りのリーディングカンパニー

「種を播け」

「種を播け」

よい種を播いて歩こう
これが我が社のモットーです
たとえ、どんな旱魃がきても
枯れないような強い種をまき
汗を流して肥料をやろう
必ず立派な実がみのる
たとえ、自分がとらなくても
私はこう思っています
種まきをしないで
肥料をやらないで
誰も果実ばかりねらっていては
本当の繁栄はこないと
私はそう思います

池田　英一（当社創業者）

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

企業理念

ニチレキグループ企業理念

基本理念（種播き精神）

『種を播き、水をやり、花を咲かせて実らせる』

たゆみない努力の積み重ねによって絶えず新しい仕事を創造していきます。

経営理念

ニチレキグループは、「道」創りを通して社会に貢献するため、

①優れた機能とコストを満足する道路舗装材料ならびに工法の提供
②国民の共有資産である「道」をいつも見守る高度なコンサルティング
③顧客から信頼される施工技術

これらを完全に一体化し、株主をはじめ幅広い顧客の皆様から信頼される「道」創りになくてはならない収益性に優れた企業グループであり続けるとともに、社員一人ひとりが能力を発揮でき、働きがいのあるグループであることを経営理念とします。

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

目次

Ⅰ. 会社概要
Ⅱ. 2023年3月期　第2四半期決算概要
Ⅲ. 2023年3月期　通期業績予想

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

Ⅰ．会社概要

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

会社概要

名称	ニチレキ株式会社 NICHIREKI CO.,LTD.
本社所在地	東京都千代田区九段北四丁目3番29号
創業	1943年10月 （設立 1949年9月）
資本金	29億1,968万円
代表者	代表取締役社長 小幡 学
従業員数	958名 （連結、2022年3月31日現在）
事業内容	・アスファルト応用加工製品の製造・販売 ・建築・土木用資材の製造加工・販売 ・道路舗装工事・防水工事・上下水道工事、及びその他の土木工事の請負、これに関する調査・設計・監理 他

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

グループ沿革

1943年	池田英一がアスファルトを用いた建築防水工事を行う日本瀝青化学工業所を興す
1949年	会社設立
1950年	東京都荒川区に東京工場・研究室を建設、アスファルト乳剤の製造を開始
1954年	分割合併等により日瀝化学工業株式会社に社名変更
1961年	国産初のカチオン系アスファルト乳剤「カチオゾール」が棚橋発明賞を受賞
1968年	東京都千代田区九段に本社ビル新築（現在に至る）
1974年	東証と大証の両市場第一部銘柄として上場
1977年	栃木県の小山工場内に技術研究所を開設
1994年	ニチレキ株式会社に社名変更
2002年	中国・北京市に特殊舗装材料の製造・販売を行う日中合弁会社 北京路新大成景観舗装有限公司を設立
2007年	初のM＆Aを実施、大分県大分市の朝日工業（株）を完全子会社化
2010年	中国・上海市に子会社　日瀝（上海）商貿有限公司を設立
2014年	連結子会社を完全子会社化
2017年～2019年	M＆Aを実施、ラインファルト工業（株）、伸和化工（株）、ヒートロック工業（株）を完全子会社化
2020年	つくばみらい市に環境配慮型の生産・物流基地（つくばビッグシップ）を建設するための大規模な土地を取得
2022年	東京証券取引所の市場再編に伴い「プライム市場」を選択・移行

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

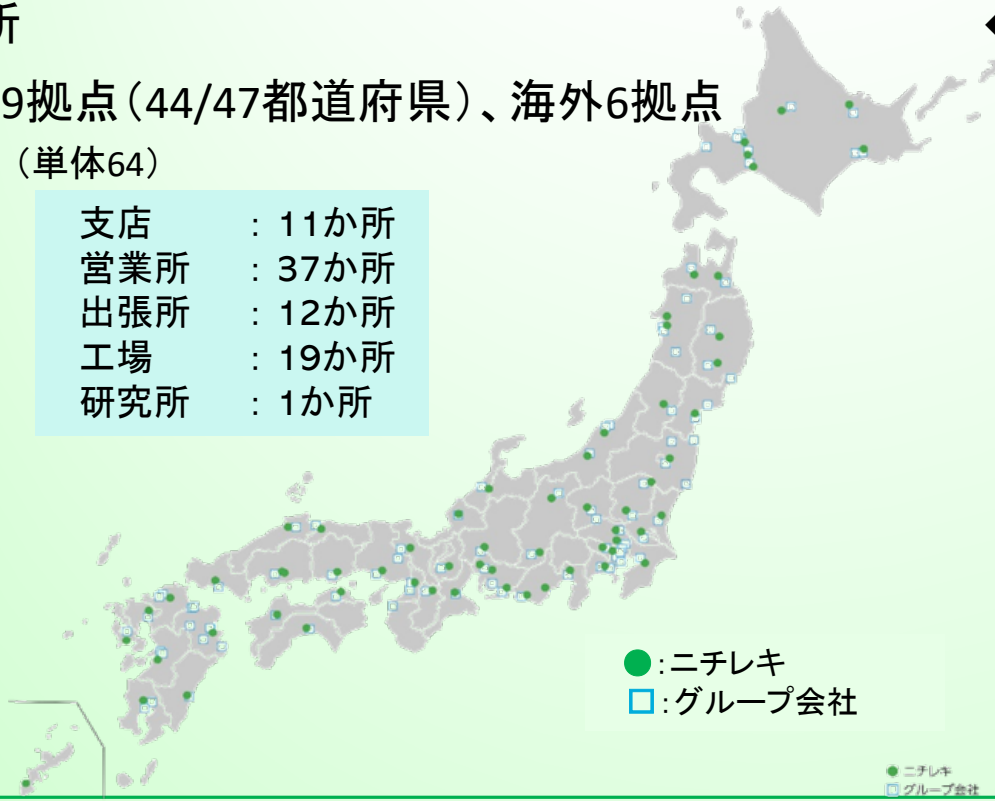
事業所・グループ会社（2022年8月31日現在）

◆事業所

国内99拠点（44/47都道府県）、海外6拠点

（単体64）

支店	：11か所
営業所	：37か所
出張所	：12か所
工場	：19か所
研究所	：1か所



◆グループ会社（連結子会社）

北海道ニチレキ工事株式会社
東北ニチレキ工事株式会社
日瀝道路株式会社
日レキ特殊工事株式会社
中部ニチレキ工事株式会社
近畿ニチレキ工事株式会社
中国ニチレキ工事株式会社
四国ニチレキ工事株式会社
朝日工業テクノス株式会社
九州ニチレキ工事株式会社
ラインファルト工業株式会社
ヒートロック工業株式会社

など33社

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

事業概要

主として道路舗装に関する製品、技術、工事等を幅広く提供する事業を展開

●アスファルト応用加工製品事業

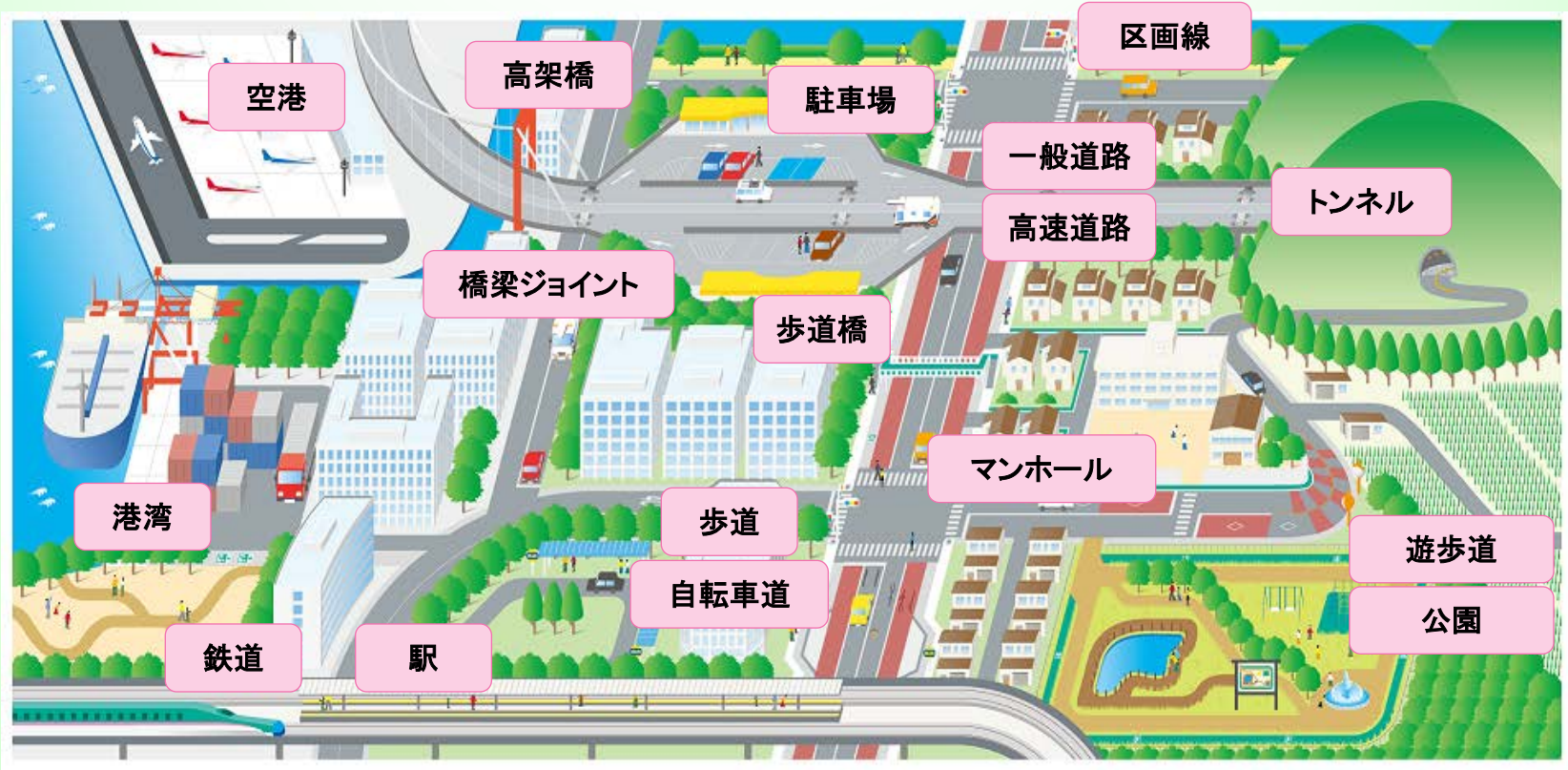
アスファルト乳剤、改質アスファルト、橋梁床版防水材料、路面補修材、クラック補修材、景観舗装材料、工業用製品などのアスファルト応用加工製品の製造・販売、および建築・土木用資材の製造加工・販売

●道路舗装事業

道路舗装工事、橋梁床版防水工事、上下水道工事ならびにその他の土木工事の請負、およびこれらに関する調査・診断、設計、監理

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

事業領域



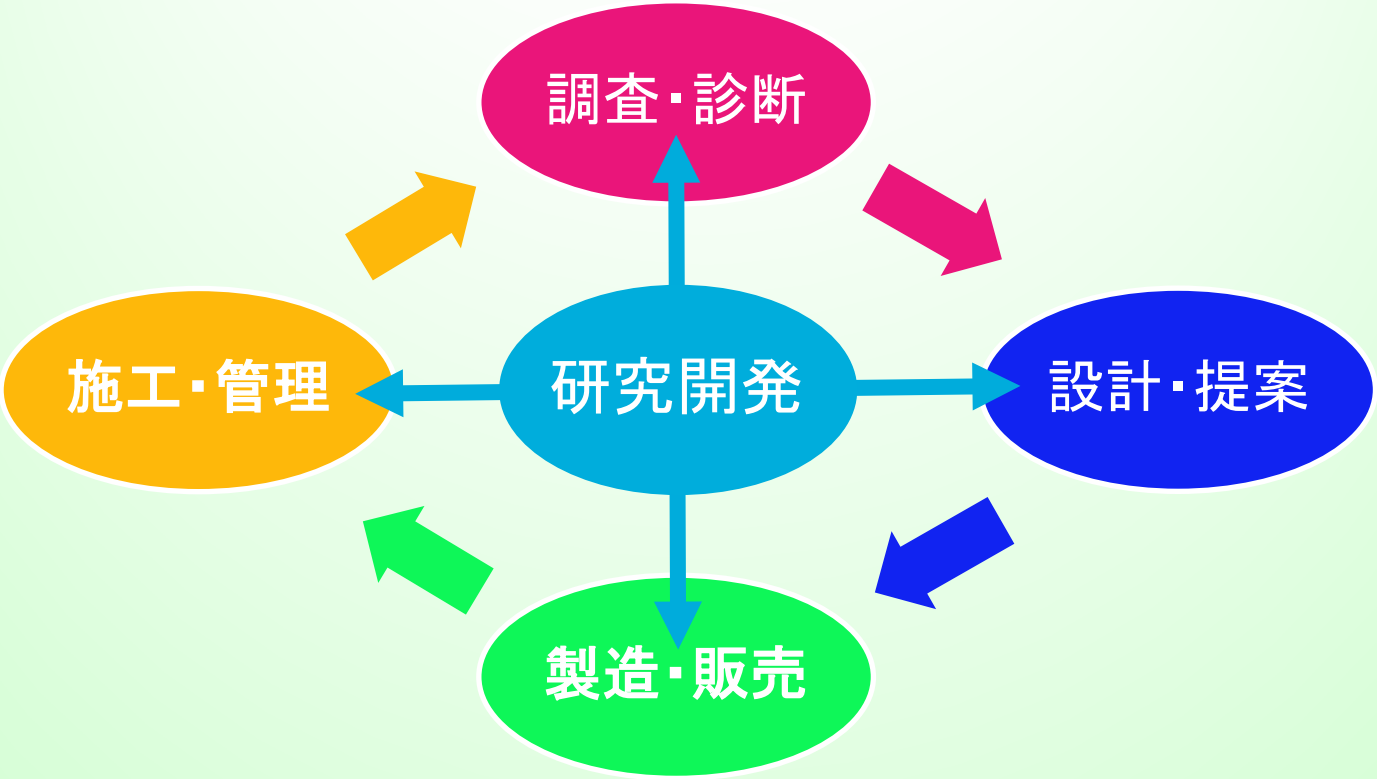
Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

研究開発の強み

- ◆ ニチレキ社員の約1割（約40名）が所属し、営業利益（連結）の約1割を研究開発に投入
- ◆ 舗装における性能評価試験機類を配備、道路の長寿命化、大規模更新などの社会インフラのメンテナンス時代に対応した環境配慮型の製品・工法の研究開発を推進

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

ビジネスモデルにおける強み



Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

気候変動への対応

ニチレキグループでは、気候変動による事業への影響を重要な経営課題の一つと捉え、気候変動対策への取り組みを積極的に実施。

■ 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)に賛同

*「統合レポート2022」において、TCFD提言に基づく開示を行っています。

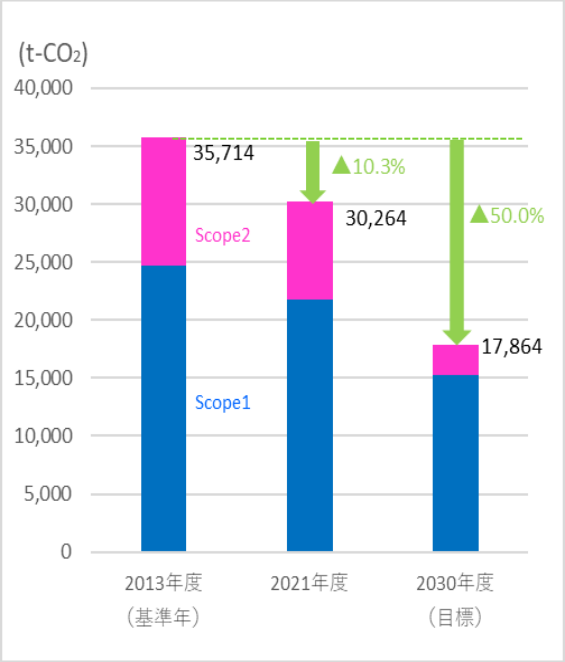
目標

- ■ 2030年度までにScope 1+2の温室効果ガス排出量を2013年度から50%削減
- ■ 2050年までにバリューチェーン全体の温室効果ガス排出量ネットゼロ

施策

- ■ 製造方法の改革、グリーン電力の購入、太陽光パネルの設置促進等
- ■ 長寿命化・中温化舗装用改質アスファルト等の環境配慮型製品の販売拡大
- ■ 低炭素型の常温舗装材料及び施工技術の開発促進

＜CO_2排出量の削減目標＞



Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

ニチレキの「足すテナビリティ」

ニチレキグループは環境に配慮した製品・工法で、
ステークホルダーの皆様のCO_2排出量削減ニーズにお応えします。

アスファルト乳剤

改質アスファルト

橋梁床版防水

景観舗装

etc…

長寿命、リサイクルなどのさらなる性能・機能を「プラス」する
すなわち『足すテナビリティ』により、持続可能な道づくりに貢献します。

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

ニチレキ製品・工法のCO_2削減イメージ例

ニチレキ

Scope 1 Scope 2

- ✓ 製造方法の改革
- ✓ 低炭素燃料、グリーン電力の購入
- ✓ 太陽光パネルの設置

改質アスファルト

長寿命　中温化

お客様
（アスファルト混合物製造工場）

Scope 3

- ✓ 製造温度の低減

アスファルト混合物

長寿命　中温化

アスファルト乳剤

常温　長寿命

地域社会
（供用）

Scope 3

- ✓ 工事回数の減少による渋滞の削減
- ✓ 限りある資源の有効活用
- ✓ 自動運転社会への対応

お客様
グループ会社
（施工業者）

Scope 1 Scope 2 Scope 3

- ✓ 常温施工、長寿命、リサイクル
- ✓ 施工機械の燃費改善
- ✓ 低炭素型施工技術、機械の開発

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

スーパーシナヤカファルト

アスファルト混合物製造時の**CO_2排出量**

約**22**%減

- 手で曲げられるほどの柔軟性と、交通荷重に耐えうる強靭性を兼備した特殊改質アスファルト
- 従来のニチレキ製品であるシナヤカファルトに比べ、混合物の製造温度を180℃から130℃に、50℃低減

足すテナビリティ

舗装の長寿命化に寄与し、工事回数が約2分の1に削減できることから工事作業および交通渋滞等によるCO_2発生量の削減にも貢献

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

スタビセメントRC工法

既設舗装の再生利用により、**CO_2排出量**
約**20%**減

◆ 破損が進行した既設舗装を現位置で再利用し、
新たな舗装を構築することにより、現場から排出する
舗装廃材を約8割削減

足すテナビリティ

＋ 工事期間の短縮やそれに伴う交通渋滞の軽減等により、
さらなるCO_2発生量の削減にも貢献

※「打換え工法」と比較
（一般的な地方レベル、設計CBR=4、大型交通量N5）

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

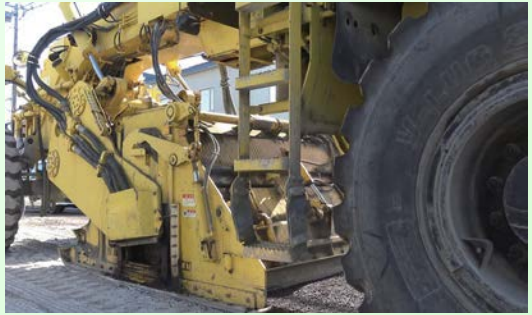
スーパーシナヤカファルト＋スタビセメントRC工法

長寿命＋リサイクルにより、**CO_2排出量**
約**48**%減

- ◆ スタビセメントRC工法で構築した基盤の上に、スーパーシナヤカファルトを舗装することにより、これまでにない舗装の長寿命化を実現
- ◆ これにより、50年間の舗装のライフサイクルにおいて、CO_2発生量を約48%削減

足すテナビリティ

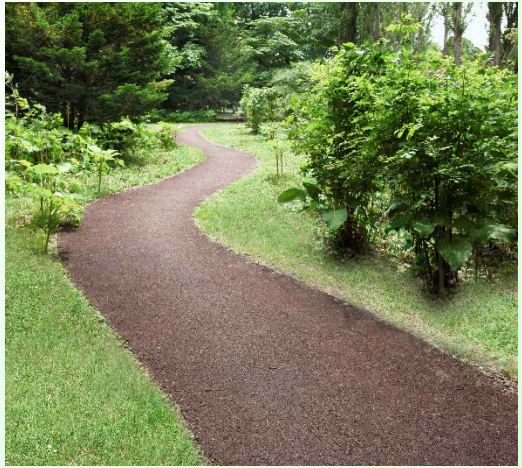
＋



Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

アスウッド舗装

通常の加熱舗装と比べCO_2排出量
約30%減



- ◆ 常温施工によるウッドチップ舗装
- ◆ 透水性やクッション性に優れ、
  周囲の自然に溶け込む風合いで景観にも配慮

足すテナビリティ

間伐材等を燃やさずに利用することにより、CO_2を大気中に戻さず固定化

例えば、厚さ4cmで1,000㎡をアスウッド舗装で施工した場合
固定化できるCO_2の量は、杉の木約1,300本が年間に吸収する量に相当

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

スーパーサーフトリート工法

加熱の薄層舗装と比べ**CO_2排出量**
約**61**%減

◆ 常温の特殊スラリー系混合物を薄く敷きならし、
面荒れした既設路面の機能を改善する工法

足すテナビリティ

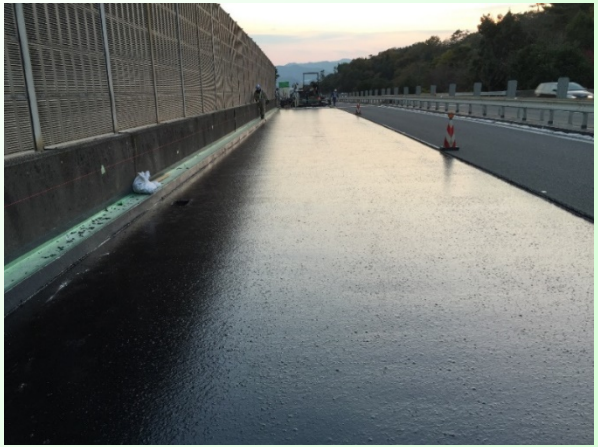
ひび割れの進展によるポットホールの発生を
未然に防ぐことで、舗装を延命化

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

グース用改質アスファルト

アスファルト混合物製造時の**CO_2排出量**

約**17**%減



- ◆ グース用改質アスファルトを用いた混合物は、コンクリート床版を対象としたグレードⅡ防水（30年間を想定した防水性能の規格）に匹敵
- ◆ 一般的なグースアスファルト混合物に比べ、混合物の製造温度を240℃から190℃に、50℃低減

足すテナビリティ

＋ 温度低減はアスファルト特有の臭気を抑制
さらに、耐久性が高く、補修頻度が低くなることからもCO_2排出量の削減に貢献

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

Ⅱ．2023年3月期　第2四半期決算概要

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

決算ハイライトⅠ（上期の概要）

- 防災・減災、国土強靭化対策など建設需要の高まり等を背景に公共投資が底堅く推移しているものの、原油価格の高騰や円安の進行等の業績下押し要因に注視を要する状況が継続。

- こうした事業環境のもと、高付加価値製品の設計・受注活動を推進してきたが、特に道路舗装事業において、一部地域での工事進捗の遅れや、資材の高騰等の影響があり、営業利益は前年度同期比減となった。一方で、親会社株主に帰属する当期純利益は、退職給付制度の一部移行に伴う特別利益の計上等により、前年度同期比大幅増となった。

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

決算ハイライト Ⅱ（連結）

（単位：百万円）

	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	前年度同期比増減率
売 上 高	32,416	33,677	3.9% ⇧
売上総利益	7,464	7,170	▲3.9% ⇩
販管費及び一般管理費	4,684	4,992	6.6% ⇧
営業利益	2,779	2,178	▲21.6% ⇩
経常利益	2,947	2,441	▲17.2% ⇩
親会社株主に帰属する当期純利益	2,002	2,646	32.2% ⇧

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

決算ハイライト Ⅲ（セグメント別）

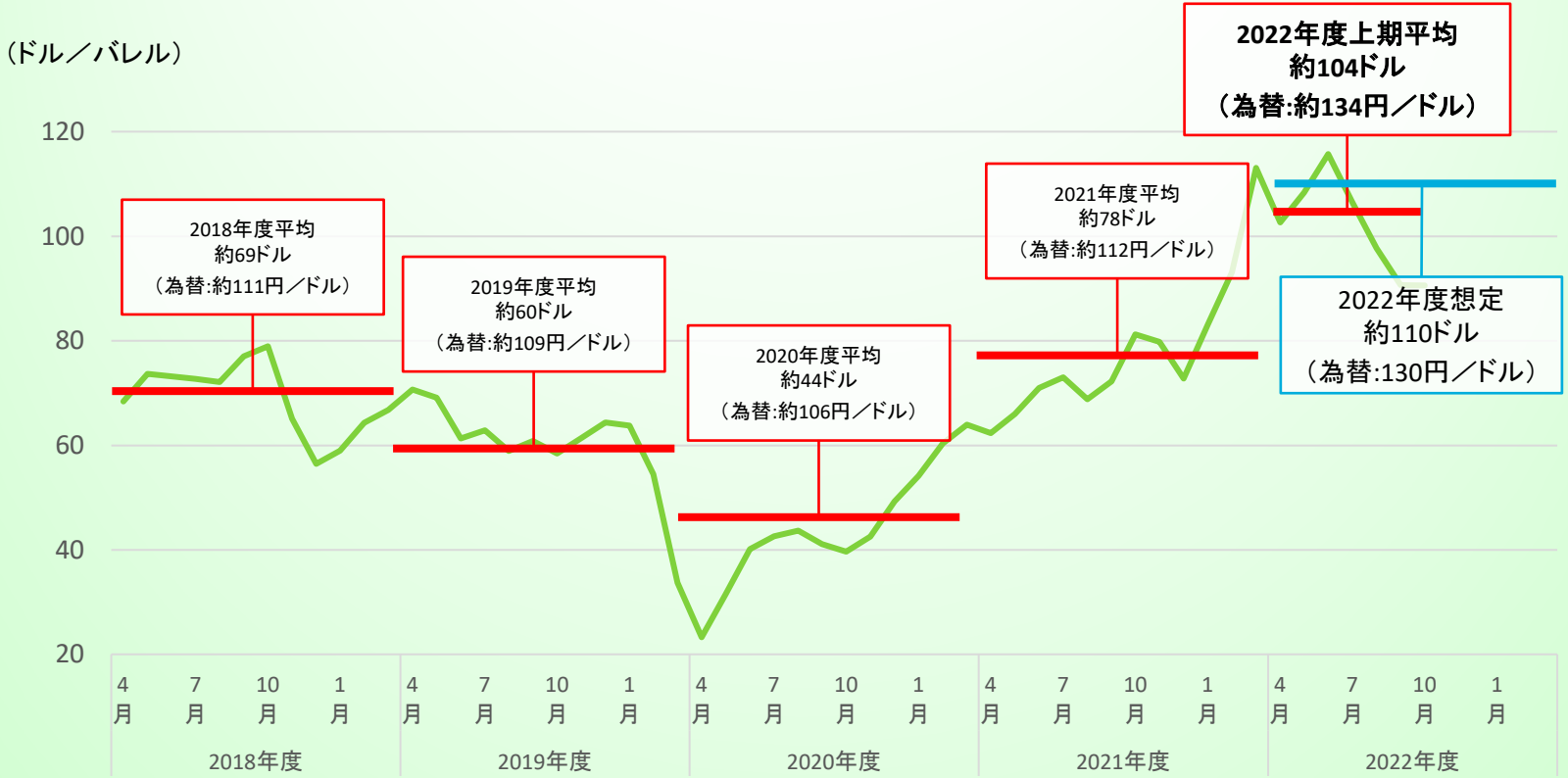
（単位：百万円）

	アスファルト応用加工製品事業			道路舗装事業		
	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	前年度同期比増減	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	前年度同期比増減
セグメント売上高	11,051	12,760	15.5% ⇧	21,214	20,763	▲2.1% ⇩
セグメント利益	2,705	2,785	3.0% ⇧	1,599	972	▲39.2% ⇩
セグメント利益率	24.5%	21.8%	▲2.7pt ⇩	7.5%	4.7%	▲2.8pt ⇩

※アスファルト応用加工製品事業のセグメント売上高は、外部顧客への売上高
※セグメント利益は、セグメント間取引消去および全社費用の調整額を控除する前の金額

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

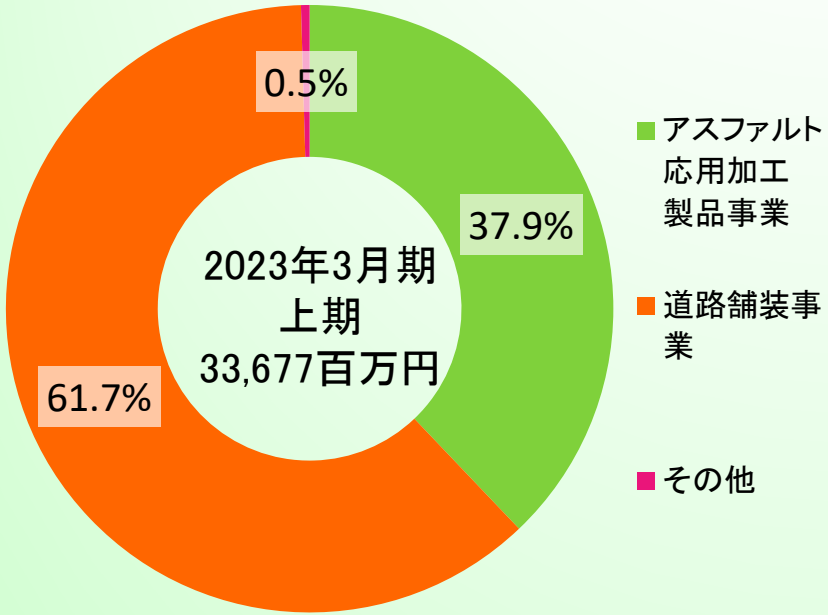
参考:ドバイ原油価格



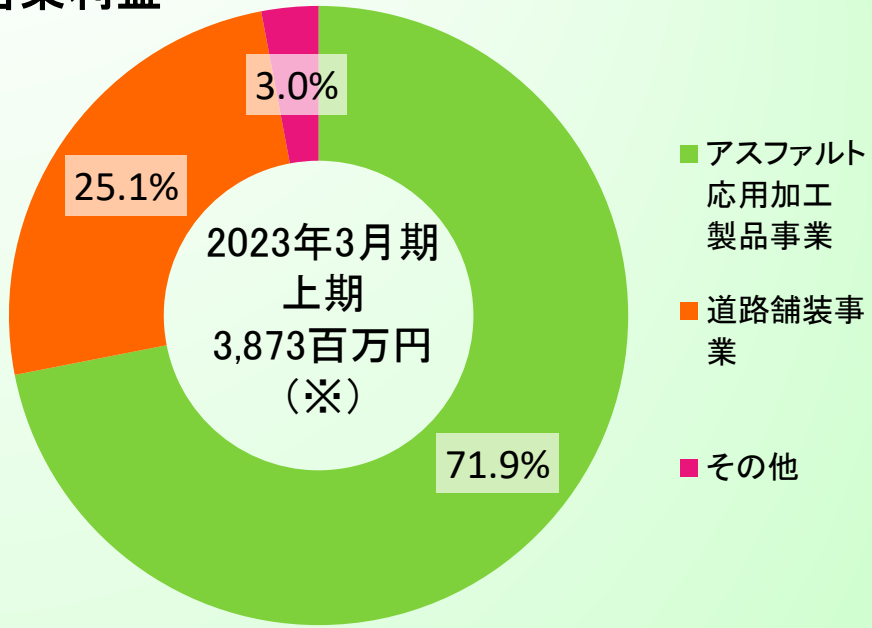
Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

セグメント別業績比率

売上高



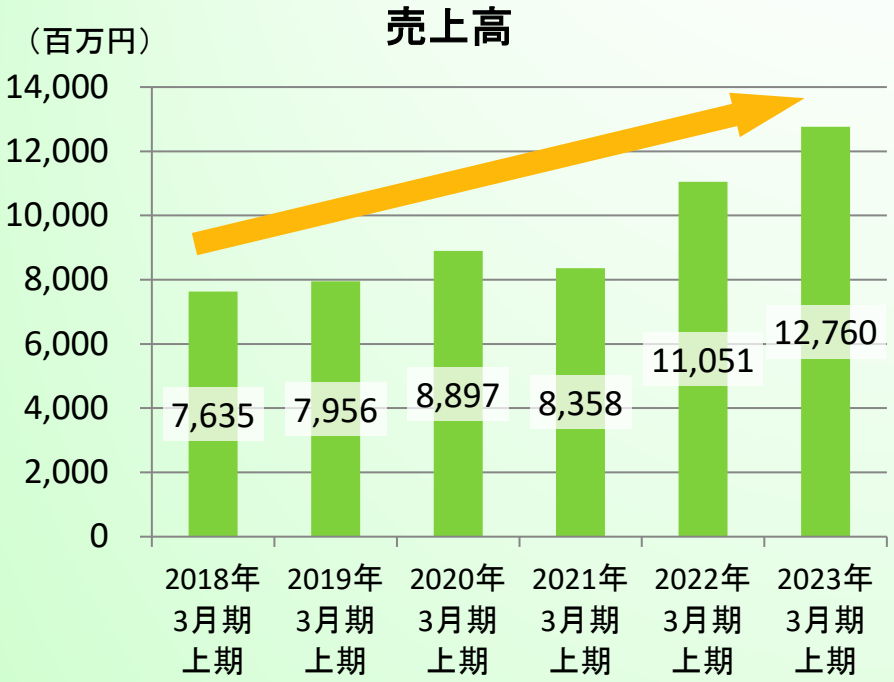
営業利益

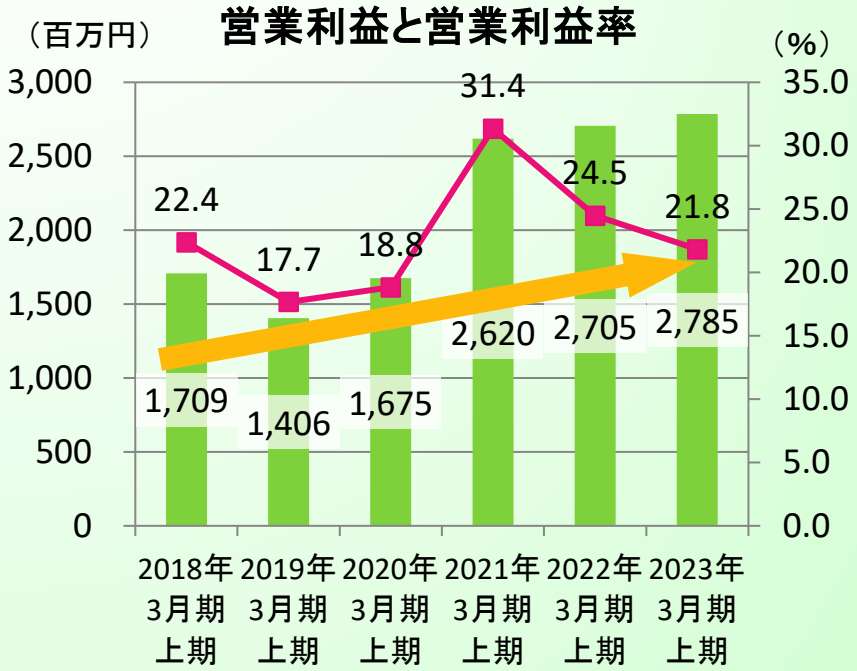


※：セグメント間取引消去および全社費用の調整額
1,694百万円を控除する前の金額

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

セグメント別業績推移（アスファルト応用加工製品事業）

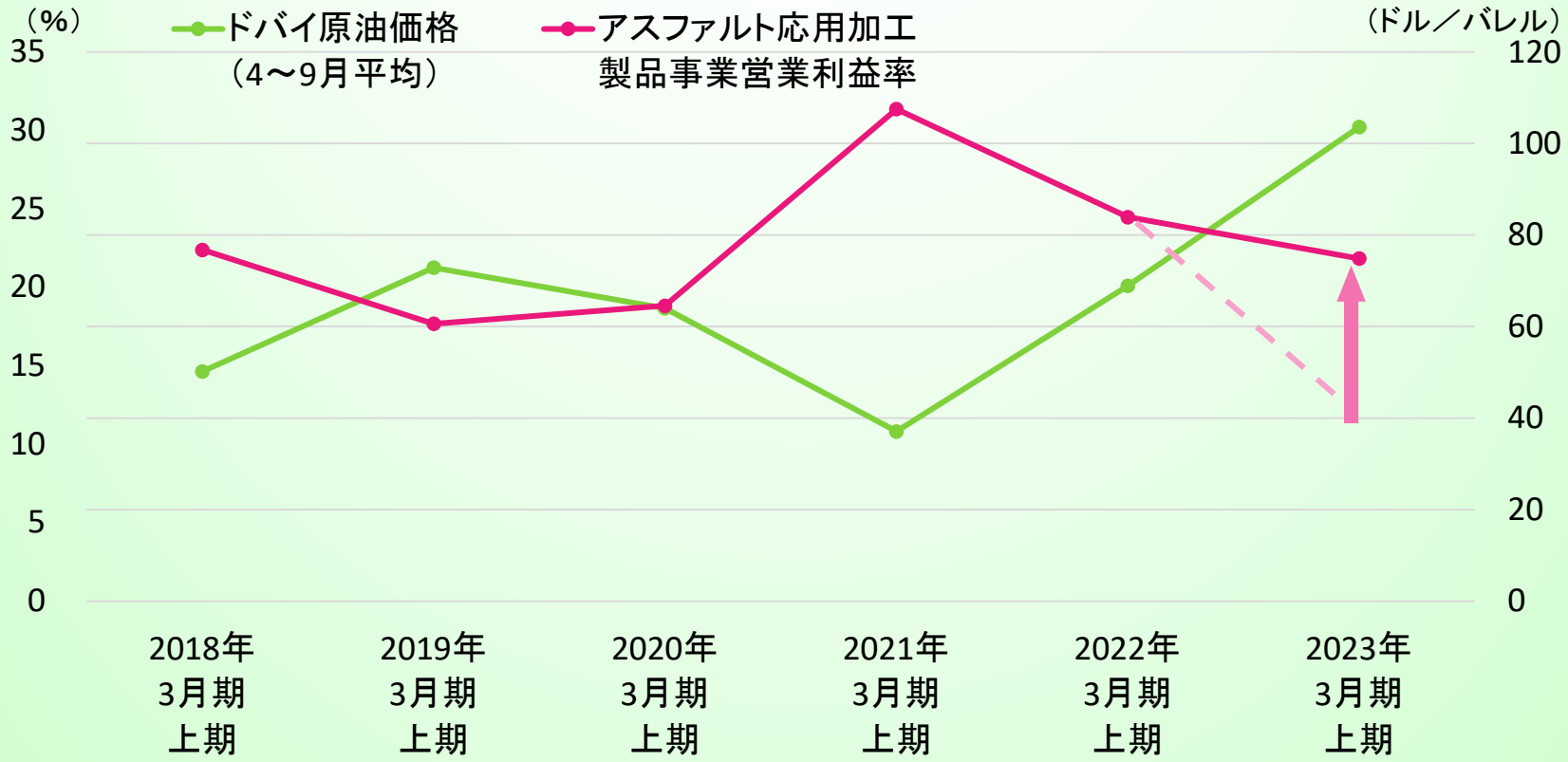




※セグメント売上高は、外部顧客への売上高のみ。セグメント利益は、セグメント間取引消去および全社費用の調整額を控除する前の金額。

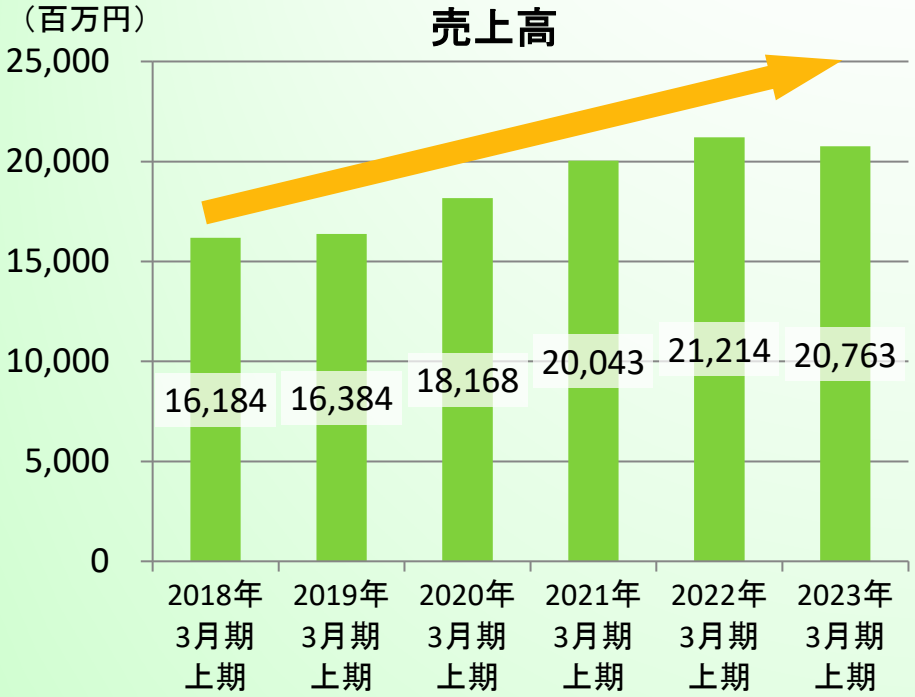
Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

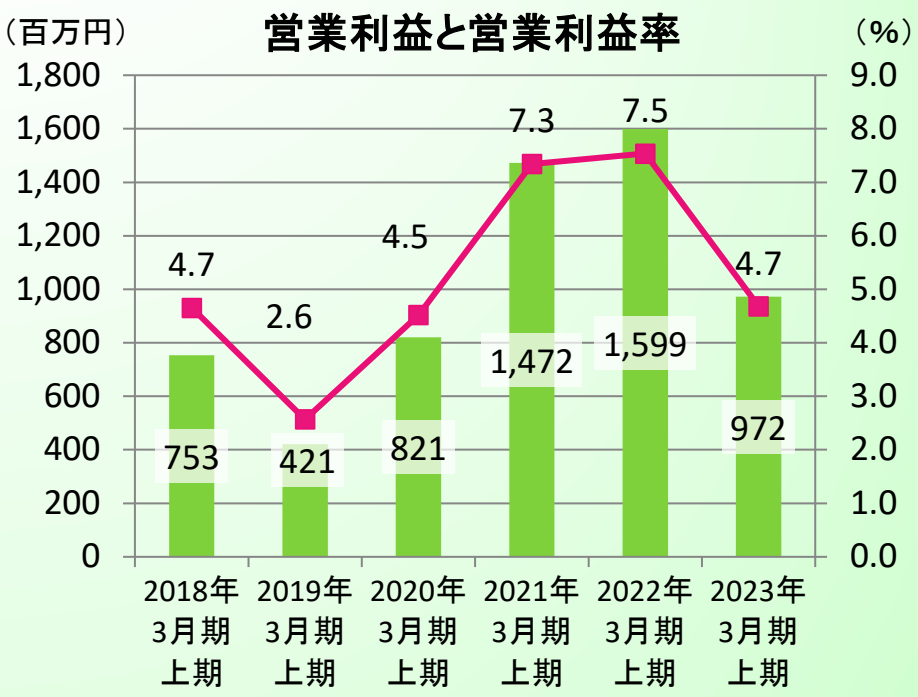
営業利益率とドバイ原油価格（上期平均）の推移



Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

セグメント別業績推移（道路舗装事業）

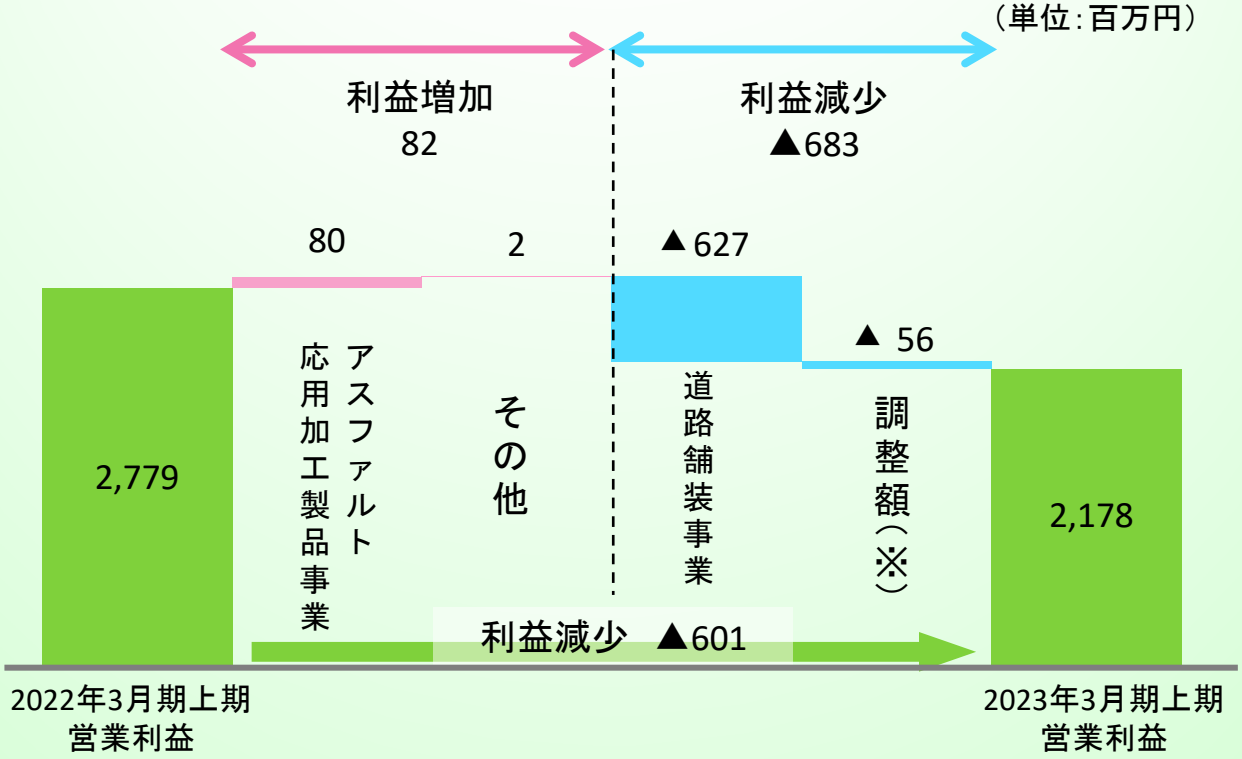




※セグメント利益は、セグメント間取引消去および全社費用の調整額を控除する前の金額。

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

営業利益の増減要因分析

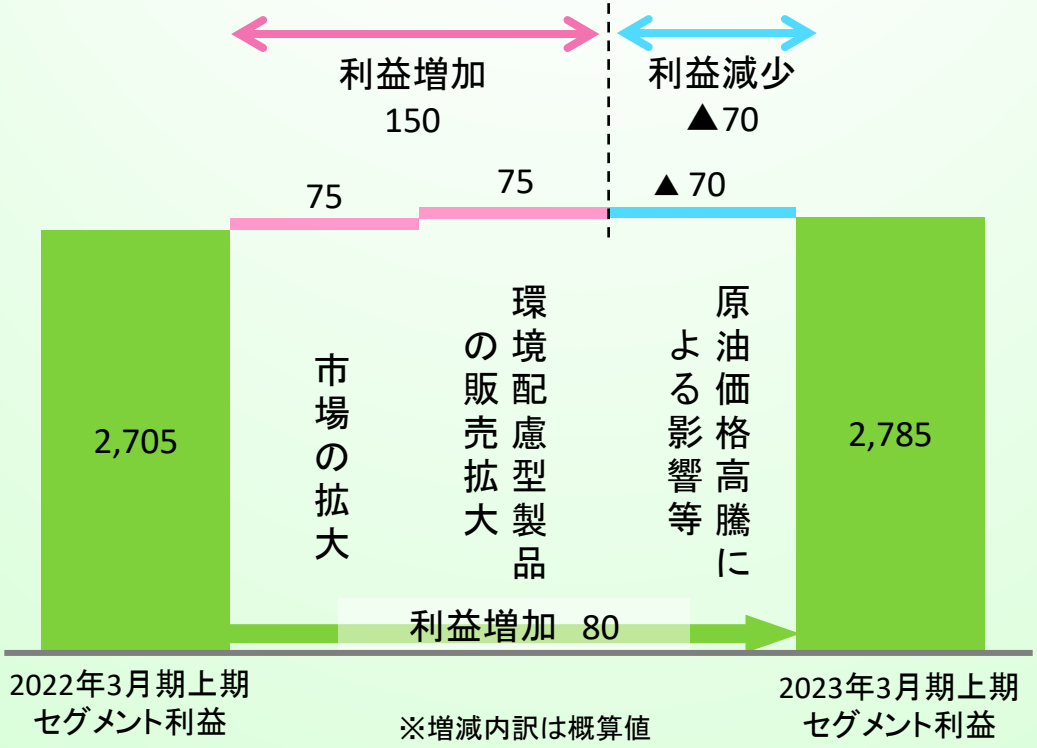


※調整額、セグメント間取引消去および、各セグメントに配分していない全社費用（主に本社管理部門費用）を含む

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

アスファルト応用加工製品事業の利益増減要因

（単位：百万円）



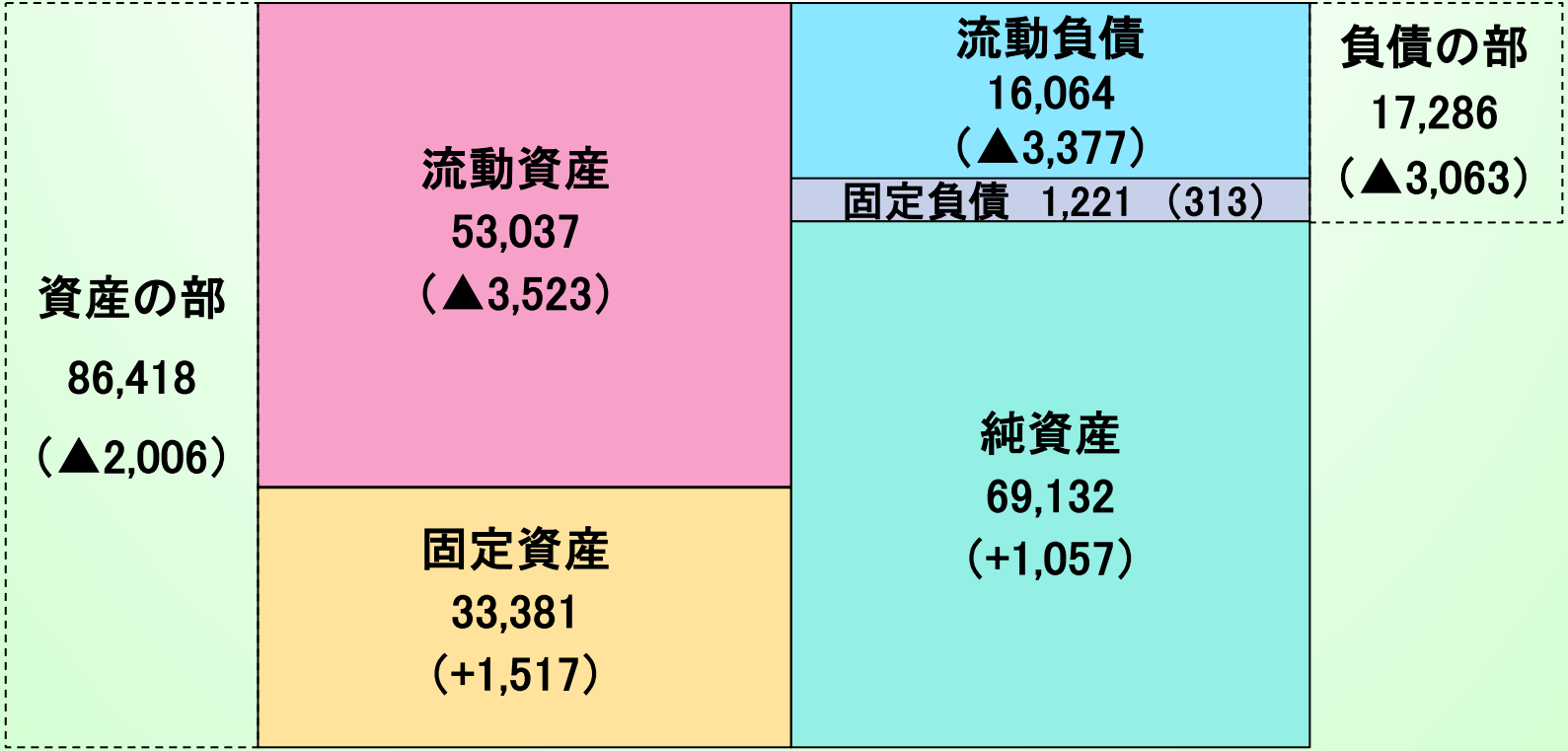
※増減内訳は概算値

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

貸借対照表（2022年9月30日）

※（）内は2022年3月期末からの増減

（単位：百万円）



Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

トピックス

4月	東京証券取引所の市場再編に伴い「プライム市場」を選択・移行
	ラジオNIKKEI番組「この企業に注目！相場の福の神」出演
5月	2022年3月期　決算説明会
7月	プロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」とのオフィシャルスポンサー契約締結
	「日本経済新聞朝刊」広告掲載
	「スーパーシナヤカファルト」上市
8月	「会社四季報オンライン」社長インタビュー掲載
9月	統合レポート（日本語版）を発行
	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)に基づく情報を開示
	個人投資家向けIR説明会
10月	第71回日経広告賞「生産財・産業部門最優秀賞」の受賞
	統合レポート（英語版）を発行

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

宇都宮ブレックスとのスポンサー契約締結

◆男子プロバスケットボールリーグB.LEAGUE所属
◆ 2021-22シーズンには年間チャンピオンの栄冠に輝く
◆ニチレキも、栃木県内に研究開発の中核である「技術研究所」および生産のメイン拠点「小山工場」を擁している繋がりから、地域貢献の一環として活動をサポート

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

新聞広告掲載および広告賞受賞

◆第71回　日経広告賞 「生産財・産業部門　最優秀賞」受賞

7月26日、8月1日 「日本経済新聞　朝刊」に2週連続のシリーズ広告を掲載。
新たな価値をプラスするサステナビリティ、すなわち「足すテナビリティ」という
キャッチフレーズを用い、CO_2の削減に寄与する製品・工法を通じてSDGsや
カーボンニュートラルの実現に向けた当社の姿勢を表現。

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

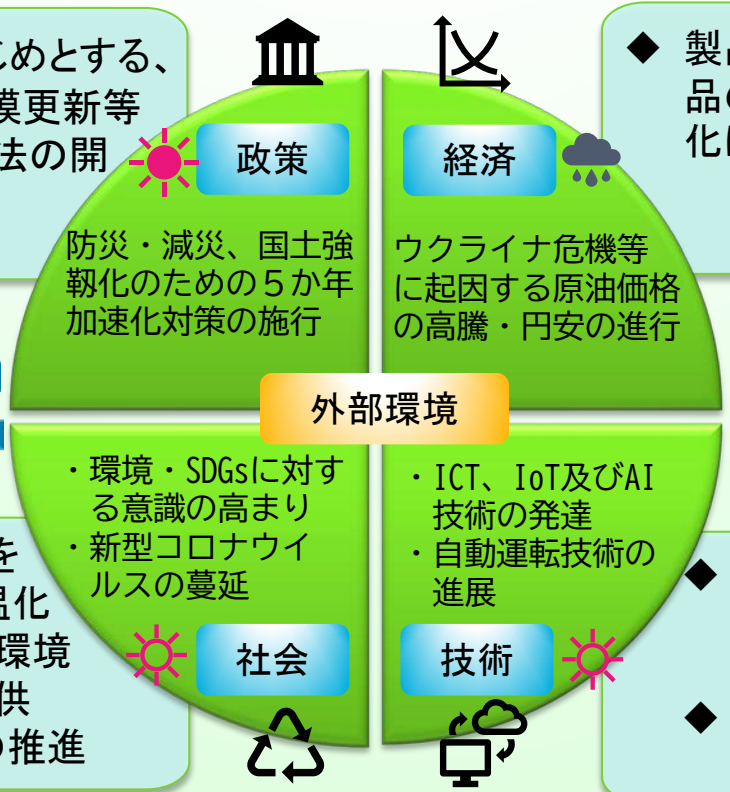
Ⅲ. 2023年3月期　通期業績予想

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

当社グループを取り巻く外部環境と対応

◆「スタビセメントRC工法」をはじめとする、インフラの老朽化対応・大規模更新等のニーズに対応した製品・工法の開発・提供

◆ 製品販売価格への適切な転嫁及び製品の高付加価値化による業績の安定化に向けた取り組み



◆「スーパーシナヤカファルト」をはじめとする、長寿命化・中温化舗装用改質アスファルト等の環境配慮型製品・工法の開発・提供

◆ 遠隔臨場等、新しい働き方の推進

◆「GLOCAL-EYEZ」など、新技術を駆使した道路点検のDX化、施工のロボット化及び物流の改革等の推進

◆ 自動運転社会に向けた対応の推進

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

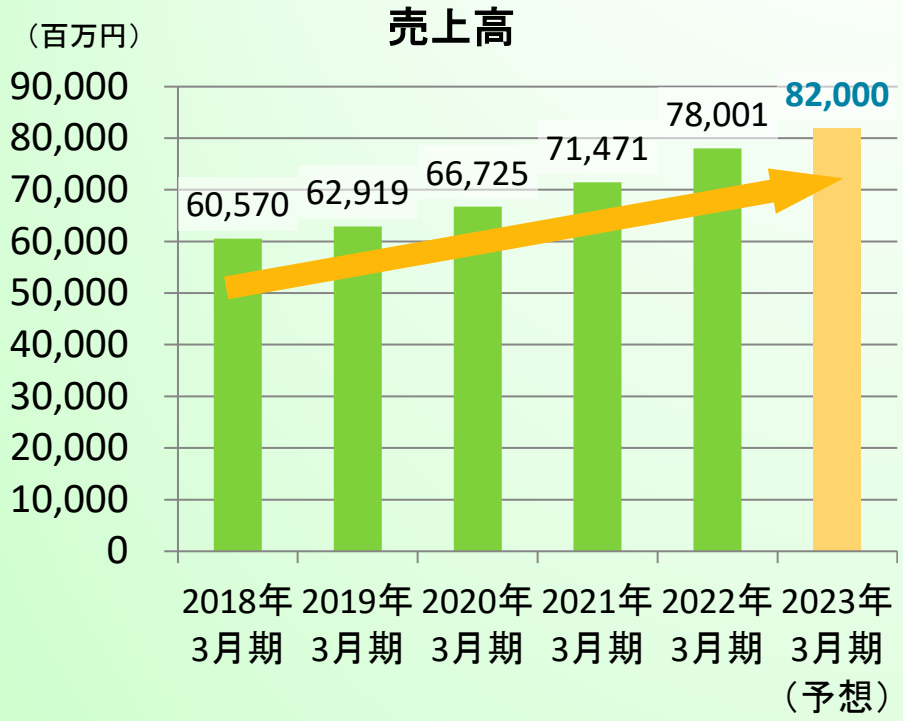
通期業績予想（連結）

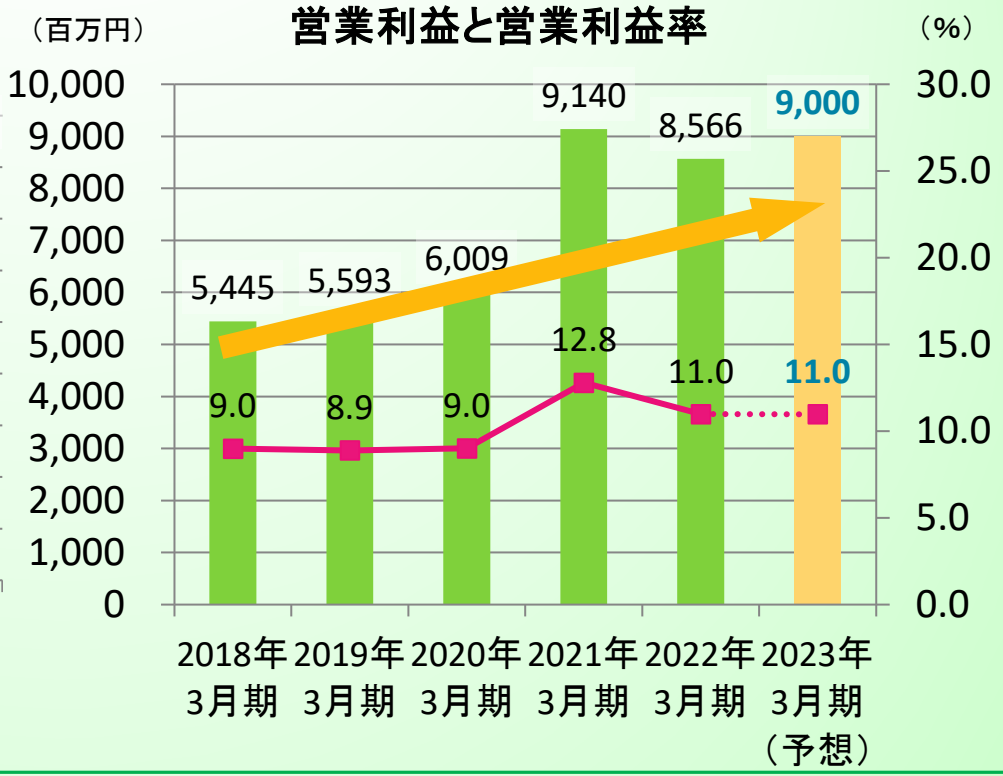
（単位：百万円）

	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	対前期 増減率
売上高	78,001	82,000	5.1%
営業利益	8,566	9,000	5.1%
経常利益	9,311	9,300	▲0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,811	7,200	5.7%

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

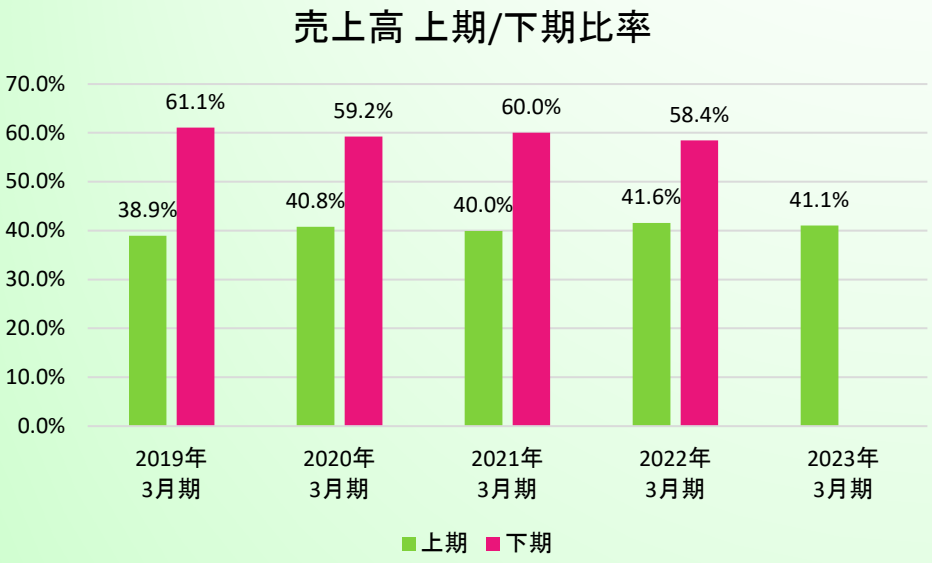
通期業績予想（推移）



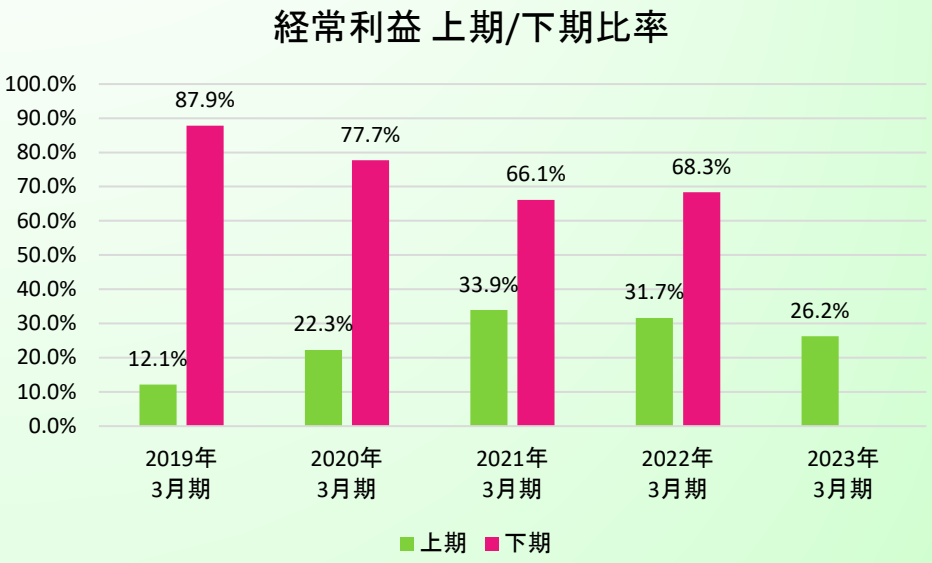


Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

売上高・経常利益　上期/下期比率推移



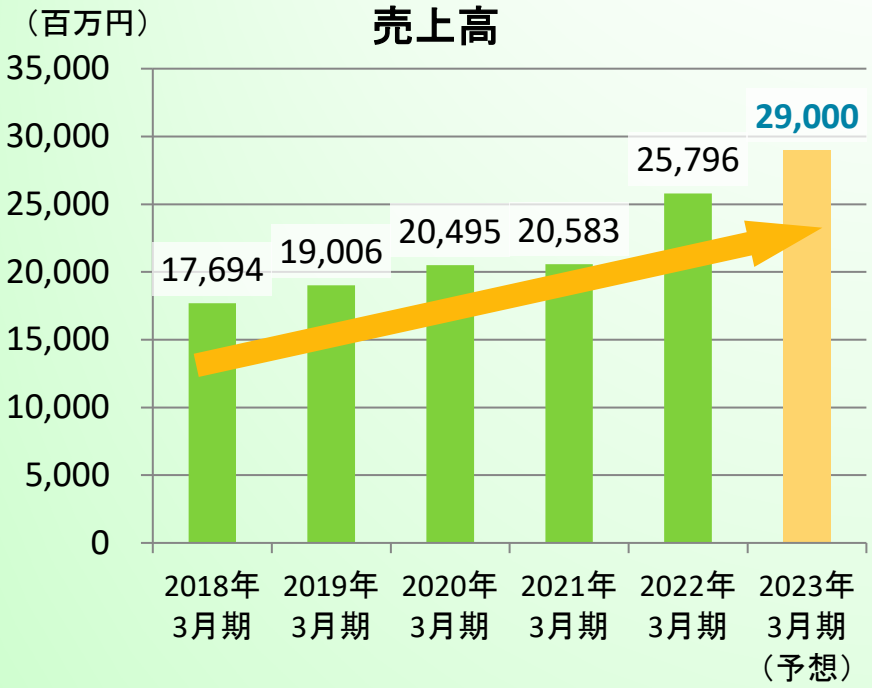
※ 2023年3月期の比率は対予想値のもの

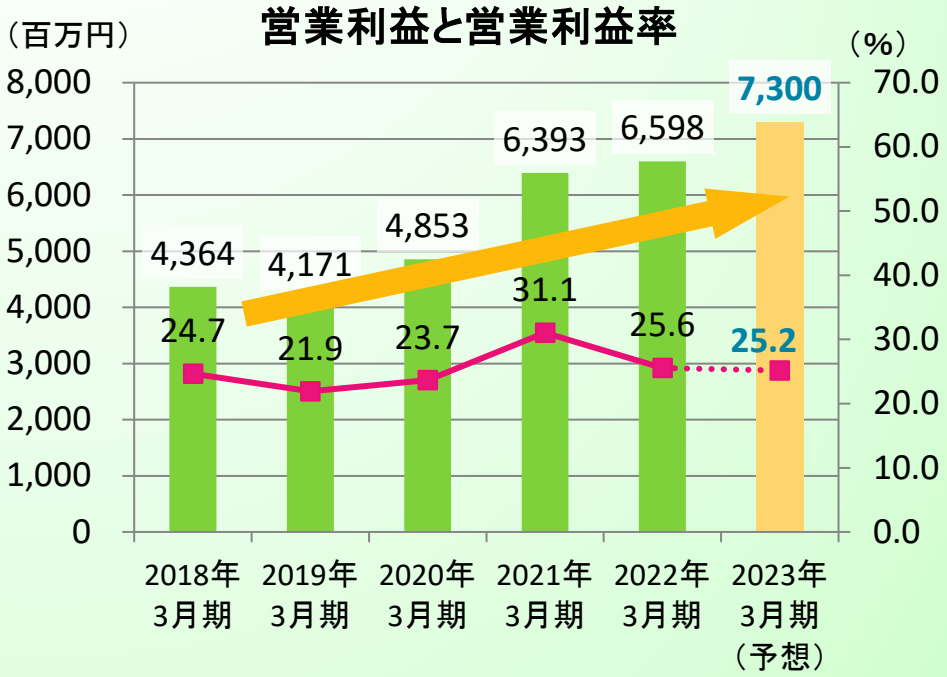


※ 2023年3月期の比率は対予想値のもの

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

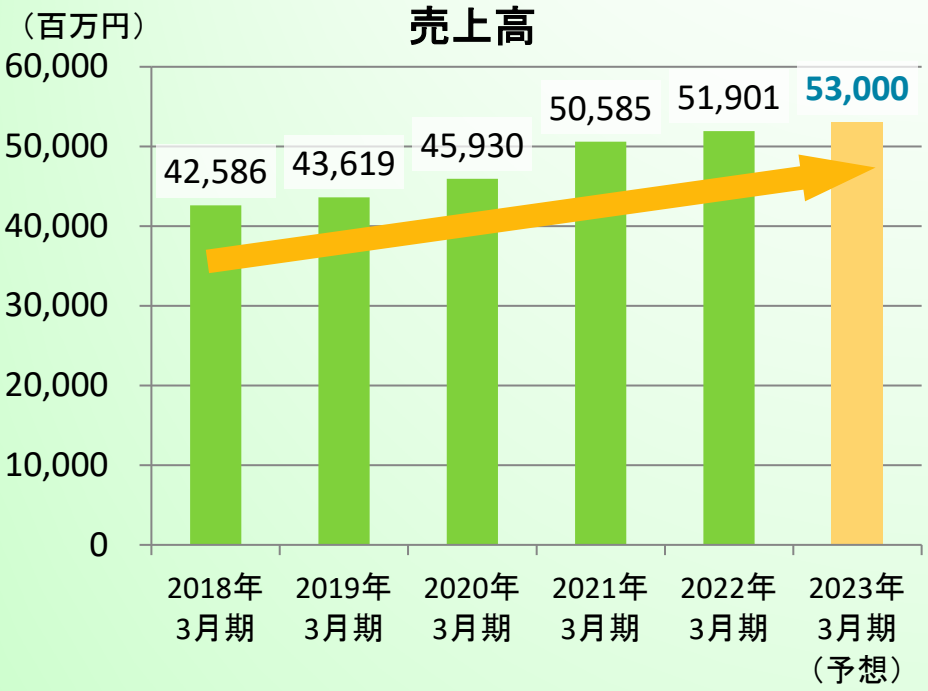
セグメント別業績予想（アスファルト応用加工製品事業）

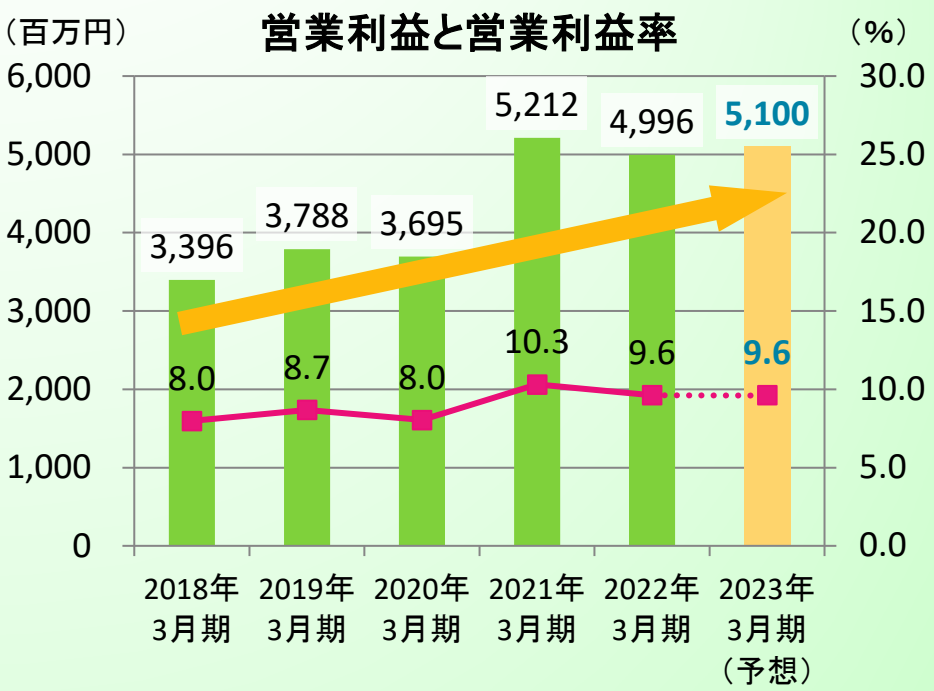




Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

セグメント別業績予想（道路舗装事業）

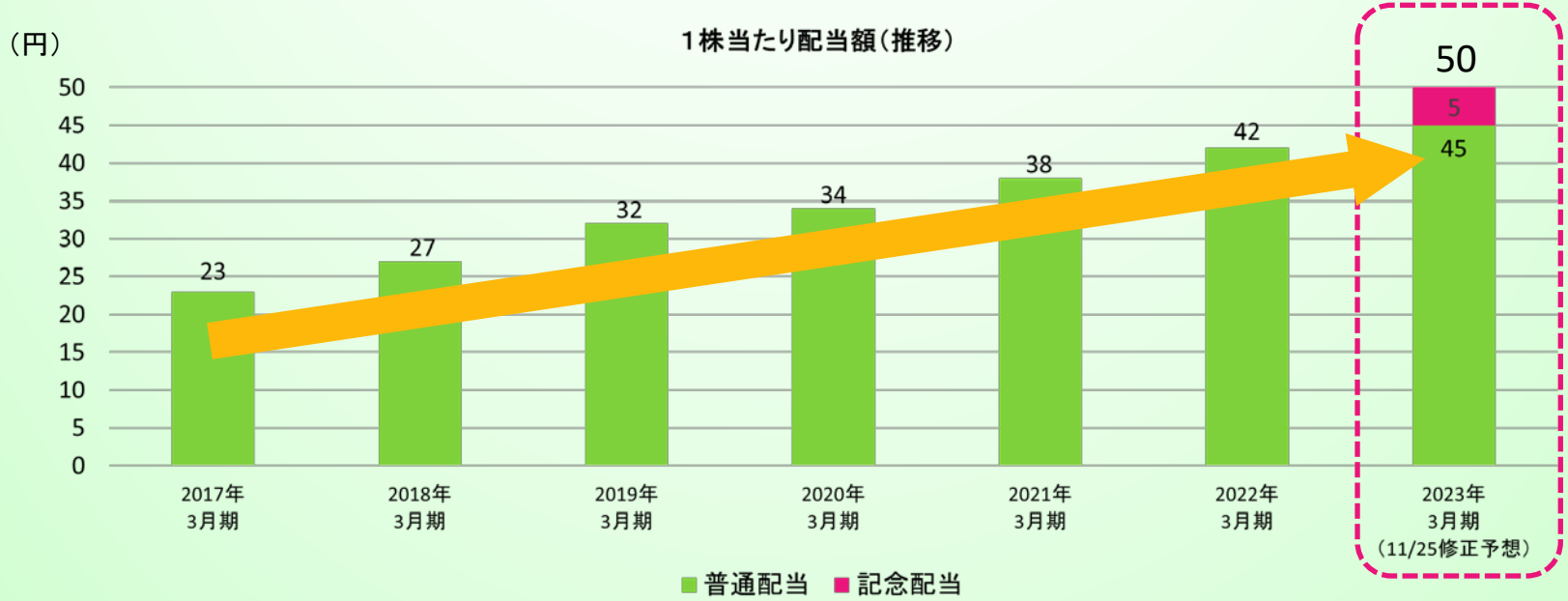




Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

配当予想

◆安定配当を基本とし、業績向上による増配に向けても努力を継続
◆2023年10月26日に創業80周年を迎えるにあたり、今年度の期末配当金において、1株当たり5円の記念配当を実施予定



Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

ニチレキグループの成長戦略

研究開発力を武器に、市場の拡大及び高付加価値製品・工法の開発により、更なる成長を目指す。

製品ラインナップ拡大・高付加価値化

市場の拡大

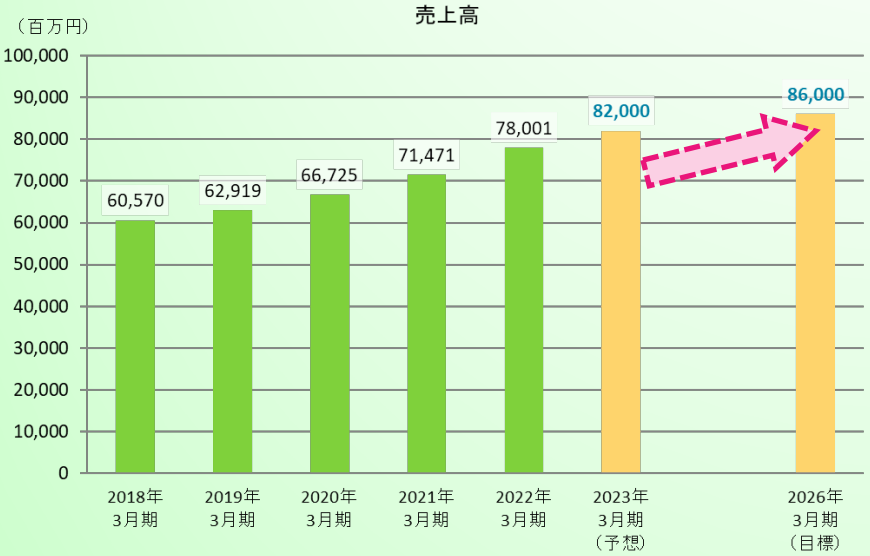
	既存製品・工法	新規製品・工法
既存市場	お客様のニーズに応えた高品質な製品・工法の提供により、更なる信頼を獲得し、市場に浸透	**高付加価値製品開発** 「長寿命・高性能」、「環境負荷低減」のニーズに対応した、更なる高付加価値製品を開発し、お客様に提供
新規市場	**市場拡大・深耕＋定着** 空港や港湾など道路舗装事業の周辺領域、民間企業の工場、駐車場などの新規市場、中国をはじめとする海外市場への展開	**次世代ニーズへの対応** つくばビッグシップにおける高付加価値の新規製品により、自動運転・低炭素社会等をキーワードとした、新たな市場に参入

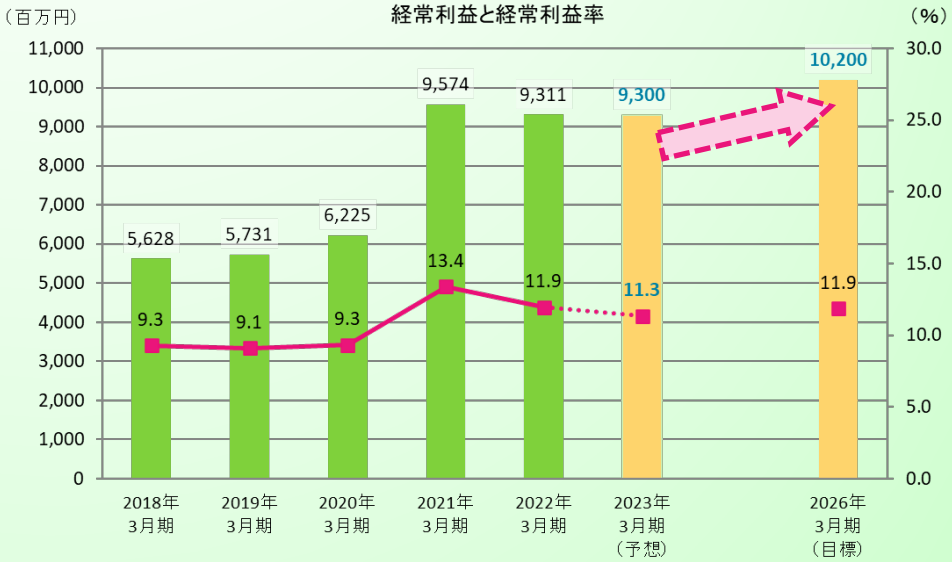
Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

経営成績目標

防災・減災、国土強靭化対策等の建設需要高まりを背景とした、高水準の公共投資が継続される見通し。原油価格高止まりが予想されるが、市場拡大と高付加価値製品・工法の提供により、目標売上高・利益の達成を見込む。

※「つくばビッグシップ」の開発については、鋼材価格高騰・資材調達難からの納期の大幅な遅れにより、着工延期を決定。
　修正後の数値目標に当該建設に係る減価償却負担は織り込まず。





Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

「つくばビッグシップ」プロジェクトについて

- 着工を延期していた「つくばビッグシップ」に関し、外部要因が解消次第、早期の着工を目指す。
- 環境配慮型の生産物流基地として、脱炭素化への先進的な取り組みを行うとともに、高付加価値製品の製造や物流の効率化により、収益力の向上及びコスト削減を実現する。

生産能力の向上
最新鋭の設備の利用及びDXの推進等により、各種製品の生産能力の向上を図るとともに、製造費用を削減し、収益力をアップ

高付加価値製品の製造
次世代ニーズに対応した高付加価値製品の製造

首都圏の「工事センター」機能
首都圏の「工事センター」として、工事への対応力を強化

環境に配慮した生産・物流の実現
環境に配慮した生産・物流体制の構築により中長期的なサステナビリティを強化

物流管理の効率化
ニチレキグループの物流のコントロール・センターとして、効率的な生産管理・輸送体制を構築

BCP（事業継続計画）機能の強化
首都圏に複数の工場を保有することにより、災害発生時においても、製品供給の社会的責任を果たす

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

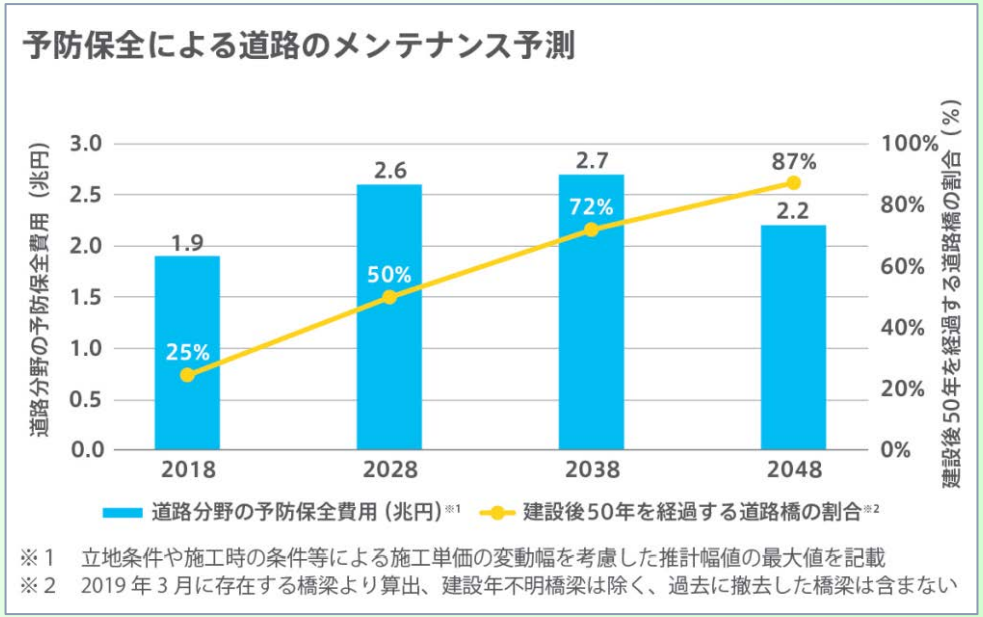
予防保全による道路メンテナンス

予防保全による道路の維持修繕・更新費

2028年　2.6兆円（予測）

＜道路行政が目指す姿＞

- 災害から人と暮らしを守る道路
- 道路交通の低炭素化
- 道路ネットワークの長寿命化



出典：国土交通省 「2040年、道路の景色が変わる」
https://www.mlit.go.jp/road/vision/pdf/01.pdf

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

財務方針ーキャッシュアロケーション（2022年度～2025年度）

事業成長から創出されるキャッシュフローを活用し、次世代に向けた成長投資を行うとともにより手厚い株主還元を実施。

◆国土強靭化や環境負荷低減に寄与する高付加価値製品・工法の提供により、更なる営業利益の向上を目指す。

営業利益（370億円）

減価償却費

成長投資（300億円）	**◆つくばビッグシップへの投資** 先進的な環境配慮型の生産物流基地の建設。 **◆既存拠点への投資** ※キャッシュアウトは今中計期間中に発生見込み 生産性・安全性の向上に向けた既存拠点のインフラ改善。
通常投資（80億円）	拠点施設・設備維持のための投資。 （年間約20億円）
株主還元（65億円）	**◆業績向上による配当の増額** 配当額は5年前の2017年度からほぼ倍増。今後も事業成長により更なる増配を目指す。 **◆株主還元の強化** 中期経営計画期間中に配当性向の向上を目指す。
法人税等	

※現時点におけるキャッシュイン・アウトの見込み概算値

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.

◆ご注意事項

本資料に含まれる業績予想等の将来予測に関する記述は、資料作成時点における入手可能情報および、当社の判断・仮定に基づくものです。今後の経済状況および事業環境の変化等により、実際の業績は現時点の予測から乖離する可能性があります。

◆お問合せ先

ニチレキ株式会社　広報部　IR担当
TEL：03-3265-1513（8:30～17:30、土日・祝日を除く）
HP ：https://www.nichireki.co.jp/inquiry/

Copyright© NICHIREKI CO., LTD. All rights reserved.